論座 RONZA for Library

朝日新聞記事データベース 聞蔵Ⅱ

関連サービス

論座 for Library は、聞蔵Ⅱの有料関連サービスです。

論座とは？

2010年開設の、朝日新聞社の言論サイト。第一線の専門家、ジャーナリスト、朝日新聞の論説委員らが、独自の視点からニュースに迫ります。多様な論考が並ぶプラットフォームとして、知識や視野を広げるのにお役立てください。

同時に複数人が使える！

同時アクセス数の制限がないので、同時に何人でも使えます。

1万超の記事が読み放題！

サイト開設（2010年6月24日）からの全記事が読み放題！ ほぼ毎日更新。

豪華な執筆陣！

400人以上の気鋭の論者が多彩な論考を繰り広げます。

最新ニュースにも対応！

日々のニュースに即した「論」を、機動的にお届けします。

今を読み解く5つのジャンル

政治・国際　経済・雇用　社会・スポーツ　科学・環境　文化・エンタメ

料金

年額 **42,000円**（税抜）

月額 **3,500円**（税抜）

契約対象

聞蔵Ⅱビジュアル、聞蔵Ⅱテキストを契約している大学・公共図書館

認証方式

IP認証のみ。聞蔵をID制御型（IP認証併用）、もしくはIP認証型で利用している大学・公共図書館に限ります

今を読み解き、明日を考えるための知的な材料を提供する、多様な言論の広場

論座 RONZA for Library

「政治・国際」「経済・雇用」「社会・スポーツ」「科学・環境」「文化・エンタメ」の5分野で、400人を超える筆者が、多彩な論考を提供しています。

多彩な執筆者 推薦コメント

論壇の疲弊を打破する「論座」

中島岳志氏
東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授

『論座』は1995年から2008年まで刊行された月刊誌でした。私の論壇デビューは、この雑誌に書いた「窪塚洋介と平成ネオ・ナショナリズムはどこへ行くのか」でした。2006年1月号です。

『論座』が発行されていた13年間は、ちょうど日本の右傾化と軌を一にしていました。1997年の「新しい歴史教科書をつくる会」発足、1998年の小林よしのり『戦争論』のベストセラー化、1999年の「国旗及び国歌に関する法律」公布、そして2006年の第一次安倍内閣成立。

『論座』は、この流れに抗し、時に果敢に論争を仕掛けながら、新しい論壇を作ろうとする意欲的な雑誌でした。2006年5月号の特集は、「諸君！それでも正論か」。保守系論壇誌の『諸君！』『正論』に正面から議論を投げかけ、右傾化に対する論点を提示しようとしていました。

当時、20代から30代初めだった私にとって、最も書きたい憧れの雑誌でした。しかし、2008年にあえなく休刊。打ちのめされるような喪失感を味わいました。

今回の「WEBRONZA」から「論座」へのリニューアルは、原点回帰であると共に、当時よりも深刻になった論壇の疲弊を打破するものであってほしいと思います。私もその一翼を担えるよう、執筆者として頑張ってみたいと思います。まだまだ、やるべきことはあります。

落ち着いて思考をめぐらせる場所

安田菜津紀氏
フォトジャーナリスト

ネット上では時に、ある集団、ある国を一くくりにまとめ上げ、罵倒するような言葉さえ飛び交うことがある。けれども現実はもっと、細やかで複雑なはずだ。過激な言葉の競い合いの裏でますます、声をあげづらい人たちの言葉がかき消されてしまう。

そんな時こそ必要なのは、暴言に暴言を重ねるのではなく、言論で向き合うことだ。SNSでは「いいね」や「リツイート」ですぐ、自分の立ち位置を求められているように思えてしまう。だからこそ今、一度立ち止まり、落ち着いて思考を巡らせたい。

そんな鍵となる「論」が、ここ「論座」にある。現場取材、検証、論考、それぞれのプロフェッショナルが力を結集させる場であれるよう、筆者の1人として力を尽くしていきたい。

PVに踊らされない言論

勝部元気氏
評論家、社会起業家

いまは、インターネットで様々な記事を無料で読むことが出来ますが、PVを稼いで広告収入を得るビジネスモデルでは、どうしても単純明快で誰もが分かりやすい記事ほど広まりがちです。

ですが、価値観の多様化や社会の複雑化が急速に進展する現代において、社会の構造を正確に読み解くには、かなり緻密な論理展開をしなければなりません。つまり、現実の社会と流行する記事の間には、大きな矛盾が生じています。

「論座」では、様々な専門分野の執筆陣がPVに踊らされることなく丁寧に執筆し、編集者によるファクトや文章のチェックもしっかりと行われています。泥臭くとも、多様で複雑な現代社会を読み解くのに適した記事が並んでいるのです。

さらに、コンテンツの消費スタイルが近年、「買い切り」から「継続利用（サブスクリプション）」へと変化する中で、定額読み放題である点も、時代の最先端を行く人々に相応（ふさわ）しいメディアではないでしょうか。

お申し込み・お問い合わせ
朝日新聞社 データベース営業チーム 間蔵サポート
〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2
TEL 03-5541-8689（月～金曜、祝日除く10:00～18:00）
FAX 03-5541-8691 E-mail dna-support@asahi.com

朝日新聞